

令和3年 6月21日(月)
令和3年度 第1回
大阪府河川構造物等審議会
三大水門景観検討部会

資料2

アイデアの募集方法について

《アイデア募集の目的》

新水門に期待する付加価値や水門周辺に期待する姿や景観などについて、広くアイデアを募集し、安治川水門の景観設計上のコンセプトおよび配慮すべき事項の参考とする。

《募集にあたっての制約条件(募集要項)の設定》

- ① できるだけ制限を少なくする → デザインとしては多様になるが設計に反映しにくい
 - ② 実施設計に反映しやすい範囲で制限 → 実現性は高くなるが、面白いデザインは出にくい
- ⇒ 開催目的を達成するため、①と②のバランスに配慮した制約条件の設定が必要

(参考:制約条件が与える影響)

	①できるだけ制限を少なくする	②実施設計に反映しやすい範囲で制限
コンペの 衆目性	<ul style="list-style-type: none">● 奇抜なアイデアや社会的に目を引きやすいビジュアルが期待できる	<ul style="list-style-type: none">● 公共事業において専門家の注目が集まる
コンペ案の バリエーション	<ul style="list-style-type: none">● 案の幅が広く、審査しやすい● 審査員に専門的知識が無くても審査可	<ul style="list-style-type: none">● 化粧ではない機能的なデザインが勝負となる● 構造デザインの観点の審査が重要
詳細設計への 反映	<ul style="list-style-type: none">● 詳細設計へ反映できる要素が少ない● 思想だけを反映するなど	<ul style="list-style-type: none">● 検証は必要であるが、形状・機能を反映しやすい
受賞者への インセンティブ	<ul style="list-style-type: none">● 詳細設計時と関連性が薄い	<ul style="list-style-type: none">● デザインワーキング会議などに意見を述べる機会を与える

制約条件は「水門の役割や必要な機能」「新水門の整備位置」等の基本的な条件のみとし、自由なアイデアを集められるような、「(仮称)新安治川水門 アイデアコンペ」を開催する。

アイデアコンペの募集について(1)

●開催趣旨

- ① 安治川水門は西大阪地域の高潮対策の根幹施設として、これまで50年にわたり、住民の安全・安心を確保してきたが、老朽化により新たな水門を建設する必要がある
- ② 現水門は、アーチ型という日本でも珍しい形式であることもあり、地域のシンボルとして親しまれている
- ③ 新水門については、後世にも継承される優れたデザインを有し、**現水門同様、地域の方々の安全安心のシンボルとなることが期待される**
- ④ 安治川水門周辺では、弁天町駅から弁天埠頭のにぎわい創出計画や水都大阪の中心である中之島エリアからベイエリアへの新たな航路の設定など舟運の活性化が期待されており、新安治川水門を**地域の賑わいの起爆剤として盛り上げたい**
- ⑤ 新安治川水門のデザイン、及び安治川水門を中心とした近隣地域の活性化案のアイデアコンペを実施
- ⑥ コロナ禍であるため、オンラインを使ったりリモートコンペティションを実施
- ⑦ 新安治川水門の景観設計上のコンセプトおよび配慮すべき事項の参考として活用するもので**提案内容の直接的な実現を前提とはしない**

●コンペ対象

安治川水門を中心とした河川軸および周辺地域

●応募資格

- 個人、グループ、国籍、年齢は問わない
- 日本語でプレゼンできること

●提案への要求事項

【着眼点】

- 現水門の治水上の役割を踏まえた上での**新たな水門デザイン**
- **水辺の魅力向上**(河川軸の魅力の抽出・発展)
- **地域らしさの創出**(地域のアイデンティティ、歴史、文化、伝統、暮らし、営み)
- **地域の活性化**(個性あふれるまちづくり、地域資源の活用、回遊性の創出)
- **魅力ある景観の形成**(癒しやくつろぎの空間、良好な水辺景観・夜間景観、かわとまちが一体となった都市空間づくり)

- ※ 概ね水門と周辺の開発後10~20年の先の未来をイメージして提案
- ※ 提案の効果や人々のアクティビティへの影響
- ※ ハード面だけでなく使い方、仕組み、制度などソフト面の提案
- ※ 旧あるいは新安治川水門の形式や構造にとらわれない自由で夢のある提案を募集

●参考資料

【安治川水門及び管理棟】

- 新水門および管理棟の整備予定位置
- 新水門の構造形式(資料として木津川水門パースを提示)
- 安治川水門が果たすべき役割

【安治川水域】

- 夢洲~中之島までの水域図
- 計画横断面図
- 動画を撮影し、YouTubeにアップロード

【弁天埠頭】

- 弁天埠頭エリアの平面範囲図(商店街、弁天駅含む)

【上記に関連する現地写真】

- ※ 遠方からの参加者が現地調査しなくても良いような情報を提供し、完全なるオンライン運営・参加を目指す

●制約条件

- ① 新安治川水門の整備予定位置
- ② 河川の流水（洪水）、船舶の航行があるため、緊急時（津波や高潮時）以外の通常時には河川の幅や深さを必要以上に狭めない構造とする（通常時に必要とする河川幅や深さは下記に示す新木津川水門パースと同程度とする）
- ③ 本アイデアコンペでは、今後の水門整備のヒントとして実施するものであり、提案内容の直接的な実現は前提としないため、水門の形式自体は制限しない
- ④ 水門本体だけでなく、管理棟もデザインを行う

参考資料 新木津川水門イメージパース



- ※ 新木津川水門イメージパースは現在検討中であり詳細は変わることがあります。
- ※ 安治川の周辺状況については、別途現況写真、図面等にて提示

アイデアコンペの募集について(3)

●提出物

- ・ エントリーシート(指定様式)
- ・ 対象の位置づけ・課題(3ページ以内)
- ・ デザイン方針・コンセプト(4ページ以内)
- ・ 具体的な方策、デザインイメージ(6ページ以内)
- ・ その他自由提案(2ページ以内)

※ PDF形式、各シートはA4版横、15頁以内、50MB以内

※ 文字は12ポイント以上

※ 元画像の表現はスケッチ、模型、CG、概念図などツール制限は無し

※ 動画の提出も可(必須でない)としますが、提出が高評価につながるわけではありません。

※ 審査の匿名性確保のため応募者が特定される情報は表示しない

※ 応募作品はHP等にて公開予定

●審査

【審査員】

三大水門景観検討部会委員

・富山大学 都市デザイン学系 教授

久保田 善明

・京都大学大学院 工学研究科 准教授

山上 路生

・高知工科大学システム工学群 大学院工学研究科 教授

重山陽一郎

・大和大学 理工学部 教授(大阪府立大学 名誉教授)

杉村延広

・大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授

武田重昭

(五十音順 敬称略)

【審査】

1次審査: 応募総数の1割程度を選定(7作品程度を想定)

※応募総数が少ない場合は別途判断

2次審査: WEBプレゼンおよび質疑応答ののち、各賞審査

※ プレゼン資料はPPT形式とします。

※ プレゼンに使用するソフトはZoomを予定しており、プレゼンと質疑応答の様子はWEB上において公開する予定です。

●賞

最優秀賞 : 1作品

優秀賞 : 1作品

奨励賞 : 3作品

審査員特別賞 : 数作品

※ 上記以外の一次審査通過者は全て佳作とする

●著作権に関する取扱い

応募作品に対する著作権(著作権法(1970年5月6日法律第48号)第21条から第28条までに規定する権利)は応募者に帰属します。ただし、本アイデアコンペの主催者である大阪府が応募作品を結果通知・広報等の目的に使用することについて、応募者は許諾するものとします。

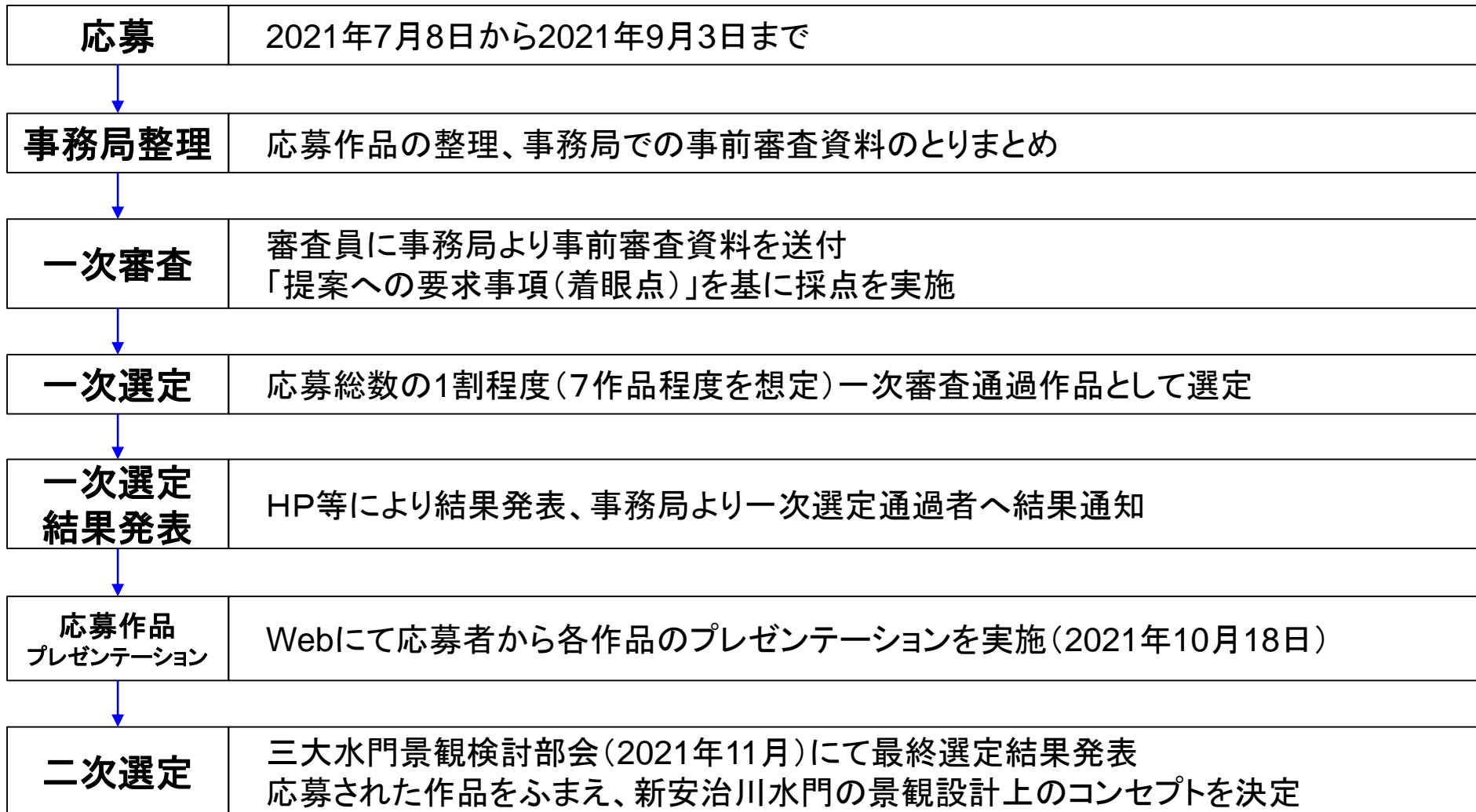
●失格要件

応募にあたり、下記のいずれかに該当する場合は失格とする。

- ・ 提出方法、提出先、提出期限が守られていない場合
- ・ 応募作品中に応募者が特定できる情報(氏名、所属、マーク・記号等)が含まれていた場合
- ・ 審査の公平性に影響のある行為(審査員への不正な働きかけ等)を行ったと認められる場合
- ・ 応募提案が第三者の知的財産権を侵すような場合

アイデアコンペの実施手順

《アイデアコンペ 実施手順(予定)》



その他（新安治川水門絵画コンクールの開催について）

《開催の目的》

絵画コンクールを通じて新水門について府民の関心や話題性を集め **防災教育や地域の関心を高める**

《開催方法》

小学生を対象とし、津波や高潮に対する防災教育や新水門改築事業に対する地域の関心を高める場とする。

《募集について》

●開催趣旨

- ① 子供たちや親御さんへの啓蒙
- ② 地域の賑わいを活性化する機運を盛り上げたい

●コンクール対象

安治川水門単体

●応募資格

- 小学生（令和3年4月1日時点）
- 大阪府内在住には限定しない

●提案への要求事項

特になし

●提示する条件

- 未来の新しい水門を描いて下さい
- 水門とは川の流れを止めてまちを高潮や津波から守るものです

※ 楽しい水門、かっこいい水門、おもしろい水門など、自由な提案

●審査

【審査員】

三大水門景観検討部会委員 5名

・富山大学 都市デザイン学系 教授

久保田 善明

・京都大学大学院 工学研究科 准教授

山上 路生

・高知工科大学システム工学群 大学院工学研究科 教授

重山陽一郎

・大和大学 理工学部 教授（大阪府立大学 名誉教授）

杉村延広

・大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授

武田重昭

（五十音順 敬称略）

・行政関係者数名

【審査】

各委員により採点を実施し、各賞選定

その他（新安治川水門絵画コンクールの開催について）

《募集について》

●提出物

- ・エントリーシート(指定様式)
- ・アイデアシート(四つ切り画用紙1枚)、説明文(100文字以内)

※ 入選作品はHP等にて公開予定のほか、津波高潮ステーションおよび川の駅はちけんやでの展示を予定しています。

●賞

- 最優秀賞 : 1作品
- 優秀賞 : 1作品
- 奨励賞 : 3作品
- 審査員特別賞 : 数作品

※ 上記の賞については、各学年において選定するものとします。

●著作権に関する取扱い

応募作品に対する著作権(著作権法<1970年5月6日法律第48号>第21条から第28条までに規定する権利)は応募者に帰属します。ただし、本設計競技の主催者である大阪府が応募作品を結果通知・広報等の目的に使用することについて、応募者は許諾するものとします。

●失格要件

- 応募にあたり、下記のいずれかに該当する場合は失格とする。
- ・ 提出方法、提出先、提出期限が守られていない場合
 - ・ 応募作品中に応募者が特定できる情報(氏名、所属、マーク・記号等)が含まれていた場合
 - ・ 審査の公平性に影響のある行為(審査員への不正な働きかけ等)を行ったと認められる場合
 - ・ 応募提案が第三者の知的財産権を侵すような場合

《実施手順(予定)》

応募

2021年7月8日から2021年9月3日まで

事務局整理

応募作品の整理、事務局での事前審査資料のとりまとめ

審査

審査員に事務局より事前審査資料を送付し、各委員において採点
事務局にて採点結果を集計

審査結果
発表

2021年10月中旬頃 HP等により審査結果発表
(三大水門景観検討部会(2021年11月)にて結果について報告)